



トンネルを安全に 走行するためのしおり

1. トンネル非常用施設について
2. 利用者へのお願い



■本 社

〒540-0012 大阪市中央区谷町3-1-18 (NS21ビル4F)
TEL:06-6941-2511

■箕面有料道路管理事務所

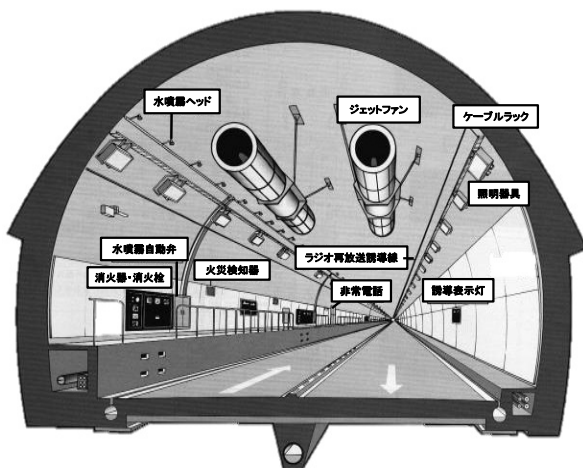
〒563-0252 箕面市下止々呂美183番地
TEL:072-769-6626



**24時間365日、安全安心・快適な道路サービスを
提供しています。**

1. 箕面有料道路のトンネル非常用施設について

日頃利用していただいている箕面有料道路トンネルには、万が一の事故や火災に備え、非常用設備を設けています。



通報・警報設備(1)非常電話

故障、事故や火災が起きた時に、管理事務所内の管制室に通報する装置で、トンネル内は200m以下毎に、60台設置しています。



通報・警報設備(2)火災検知器

トンネル内の火災を検知する装置で、小さな炎も見逃さないために2.5m毎に258台設置しています。



消火設備：消火器・消火栓

消火器は初期消火用として50mごとに2本ずつ、230本設置しています。

消火栓は消火器と共に、設置しており、取扱いが簡単な構造となっており、初期消火として使用するためにトンネル内に115箇所設置しています。



排煙設備(1)排風機

火災時のけむりは、地下換気所に設置した2台の排風機を通じて、換気塔より外部に排煙を行います。



排煙設備(2)ジェットファン

平常時はトンネル内の環境保全の目的で使用していますが、火災が発生したときには、両方向の吹き出しが可能な機種を採用しており、トンネル内に煙が拡散しないように制御します。ジェットファンはトンネル内に36基設置しています。



水噴霧設備

火災が発生したときに、車の延焼や火の勢いを抑制するために、たくさん水を霧状に放水します。

なお、放水に当たっては人がいないことを確認したうえで放水します。



監視装置

監視カメラは通常時は交通状況を確認しますが、非常時には通報の確認・消火活動・避難状況の確認を行います。

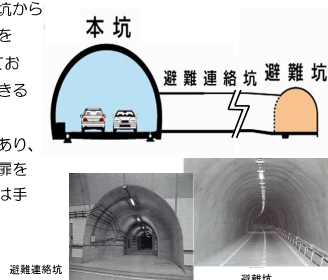
トンネル内には監視カメラを60台設置し24時間監視を行っています。



避難通路

避難通路は、避難連絡坑、避難坑からなり、避難連絡坑は本坑と避難坑を連絡するもので、15箇所設置しており、内8箇所は車も通ることができる様に幅広く出来ています。

避難連絡坑は非常駐車帯の所にあり、火災時の煙や炎を遮断するために扉を二重に設けています。避難の時には手動で開けて避難してください。



この他にも、**防音表示板**や**ラジオ再放送設備**や**拡声放送装置**などの設備を設置しており、火災等の非常時に対応しています。

これらの設備は日々の点検のほか、春と秋に夜間通行止めを実施し、設備の点検整備や作動確認の作業を行い、緊急時に備えています。

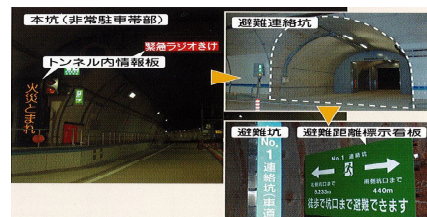
2. 利用者へのお願い

トンネル通行時



- トンネル入口及びトンネル内の情報板を確認する
- ラジオを聴く（非常時には割り込み放送をします）
- ヘッドライトを点灯する
- 制限速度を守る
- 車間距離をあける

事故発生時



- すみやかに車外へ避難し、非常電話で管制室に通報する
- 火災発生時には消火器で初期消火をする
- 危険を感じたときは、すみやかに近くの避難連絡坑から避難坑へ逃げる

非常用施設の使い方

① 管制室に連絡

▼非常電話

トンネル内は200mごとに設置しています。受話器を取ると通話できます。



▼押ボタン式通報装置

トンネル内は50mごとに設置しています。非常電話ボックス内や消火栓ボックス内にあります。保護板を指先で破り、押ボタンを押すと管制室に連絡できます。



② 初期消火(可能な場合)

トンネル内には消火器を50mごとに設置しています。

消火栓は消火器とともに設置しており、消火栓ボックス内に器具が納められています。



▼消火器使用手順



①安全栓を抜く ②ホースを火元に向ける ③レバーを握る

出典：真面目市ホームページ

▼消火栓使用手順

※燃えている油類には使用しないでください。

- ①消火栓の扉を開ける
- ②消火ノズルを止め具からはすし、ホースを引き出す
- ③ノズルをしっかり抱え持ち、赤いレバーを手前に倒す
- ④水が出たらホースの先端を回し、水を棒状・噴射状に使い分け使用する

③ 避難方法



- 火災等、身に危険を感じたときは、すみやかに避難連絡坑（約300m～400m間隔）から避難坑に避難しましょう。
- 避難時には、トンネル内拡声放送や警察、消防等から指示がありますので、その指示に従い、落ち着いて行動してください。
- 車から離れるときは、
 - ・車を左に寄せて、サイドブレーキをかけてください。
 - ・エンジンを切ってください。
 - ・キーは付けたままにしてください。
 - ・ドアはロックしないでください。

